



人と科学のステキな未来へ

コスモ・バイオ株式会社



抗 Rad51 (出芽酵母) 抗体 (ウサギ血清)

ポリクローナル抗体：ウサギ血清

62-101 50 μ l, 62-102 250 μ l

出芽酵母の Rad51 タンパク質は大腸菌の RecA タンパク質やヒト Rad51 タンパク質の機能的及び構造的ホモログであって、相同的組換え及び組換え修復において中心的な役割を果たし、相同な DNA 鎖の交換反応を促進する機能をもっている。Rad51 のパラログとして、Dmc1, Rad55, Rad57 などが知られておりこれ等は Rad51 や Rad52 と複合体を形成して、組換え反応に関与している (文献 1、2)。

本品は大腸菌で組換え体タンパク質として発現させて、高度に精製した全長の *S. cerevisiae* Rad51 タンパク質を抗原としてウサギを免疫して作成した。この抗血清を用いて、ウェスタンブロッティング法で野生型細胞抽出液に存在し、rad51 欠失株抽出液に存在しない 43kD の Rad51 タンパク質が検出された (図 1)。

用途

- 1) ウェスタンブロッティング (2,000~10,000 倍希釈) (図 1)。
- 2) 免疫沈降実験によって、種々のタンパク質との相互作用や新規の結合タンパク質が同定出来る。
- 3) 間接免疫抗体法で Rad51 タンパク質の細胞内発現や染色体上の DNA 損傷部位への局在 (foci formation) を調べることが出来る。

製品の性質

性状： 0.09% アジ化ナトリウムを含む血清

反応性：出芽酵母 Rad51 タンパク質

保存： 4

文献

1. Friedberg EC, et al. DNA Repair and Mutagenesis 2nd ed., ASM Press
2. Shinohara A. et al. Cell, 69:457(1992)

